

研究テーマ 資料提示を通してすべての児童が自分の考えをもったり発表をしたりする指導の工夫  
—第6学年「明治の国づくりを進めた人々」—

### 【提案】

発問をしたものの、児童からなかなか意見が出てこない、言葉や人物名は理解しているが、時間の経過がわからない児童が多い。そこで、教科書にある資料などの資料提示の仕方を工夫すれば、児童の予想する力を伸ばしたり、興味関心を惹きつけたりし、自由に考えたことをペアやグループ、全体の場などで発表できるのではないかと考えた。また、歴史上の人物、政府や国民の考えを想像しながら授業を進めていけば、どのような考えから事象が起こったのかを理解することができると考えた。



ペリー # 開国を求め！ #  
日米和親条約を結ぶ #  
鎖国じゃよなら #  
黒船でやっ来た #



ペリー # 開国を求める #  
日米和親条約 # 強い態度で  
黒船 # 軍艦 大砲 大きい！ #  
日米修好通商条約 #

【人物の考えや気持ちに着目した学習の様子】

## 1 実践のポイント

### (1) 児童の考えを引き出す資料提示

自分の考えをもつためには、児童が学習内容に興味関心をもったり、考えを広げられる問いで資料から予想したりすることが大切だと考えた。教科書を最初から開かせて授業を進めていると、気づかせたいことがすでに書かれていることがある。また、資料を一つ提示するだけでは児童に気づかせたいことに辿り着かず、教師が引っ張っていくような授業の展開となってしまう。そこで、黒板のみに資料を提示し、「何の資料なのか」「そこから分かることと考えられることは何か」など、興味を持たせながら丁寧に資料を読み取らせたり、複数の資料を比較させたりして、相違点や共通点に気づかせ、児童発信の疑問や興味関心を引き出していきたい。

### (2) 人物の考えや気持ちに着目した学習

単元を通して、歴史上の人物や政府、国民などの考えを予想しながら学習を進めていく。明治維新の中で起きた事象は、「誰が」「どのような考えで」「どうしたのか」を知ることができる。また、二択などで簡単に予想できるようにするなど、自分の考えをもちやすくする。まとめる学習では、明治維新に関わった人物について「Ishinstagram（維新スタグラム）」に記入する際に、どのような気持ちや考えで行動したのかを考えさせ、ハッシュタグで記入をしていく。

## 2 実践の位置付け

### (1) 小学校学習指導要領との関連

内容(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア(ケ) 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。

イ(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに注目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

本単元では、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などの事象を取り上げ、「我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。」をねらいとしている。そこで本実践では、江戸時代と明治時代の日本橋の様子やペリーの肖像画や黒船が来航してきたときの様子、西南戦争や言論の自由を訴えている絵などの資料を調べたり、明治維新に関わる人物の業績や関わる出来事、どんな気持ちで行動を起こしたのかについて「Ishinstagram（維新スタグラム）」にまとめる活動を行ったりしていく。資料から気づいたことを発表するだけで終わってしまい、そこから考えられることやさらに知りたくなるようなことまで多くの児童が意見をもてていないという課題が見られる。そこで、本単元ではすべての児童に学習問題をつくらせるために、教師が構想した学習問題と同じ内容の問題意識をもてるように、資料を比較することと、資料をプラスアルファで用意することに重点を置いて授業展開を行った。

### (2) 実践のポイントの学習評価との関連

・児童をよりよく見取るための多様な評価方法の実施

#### 方法

#### 何を見取るか

○発言…江戸時代と明治時代の変化に気づいているか。

○ノート…学習問題に対する予想が書けているか。ペリーがなぜ日本に来航したのかを考えているか。  
江戸から明治にかけてどのように世の中が変わったかまとめられているか。

○ワークシート…「日米和親条約」「日米修好通商条約」「明治維新」「版籍奉還」「廃藩置県」「自由民権運動」「大日本帝国憲法」などの意味理解ができているか。

○テスト…明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解しているか。

○作品…明治維新からその後の近代化までの事象と活躍した人物を関連付けてまとめているか。

## 3 実践の内容

### (1) 単元の目標と評価規準

我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べて、図や表にまとめ、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え表現することを通して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、我が国の歴史上の主な事象を理解している。</p> <p>② 調べたことを図や表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。</p>	<p>① 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象について考え表現している。</p>	<p>① 我が国の歴史上の主な事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

## (2) 指導計画と評価計画 (8 時間)

※網掛けは評価したことを記録に残す場面

○内の数字は時間を表す。

**知**：知識・技能    **思**：思考・判断・表現

〈 〉内は評価の方法を表す。

**態**：主体的に学習に取り組む態度

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法	資料
つかむ	<p>① 江戸時代と明治時代の街並みを比較して気づいたことを話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代から明治時代にかけて変わったこと</li> </ul> <p>学習問題</p> <p>江戸から明治にかけての20年間で世の中はどのように変わったのでしょうか</p> <p><b>実践のポイント(1)</b></p>	<p><b>態①</b> 江戸から明治にかけて変化したことに関心をもち、意欲的に調べようとしている。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の日本橋近くの様子</li> <li>明治時代の日本橋近くの様子</li> <li>年表</li> </ul>
調べる	<p>② ペリーの来航は世の中の変化にどのような影響を与えたのか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の情勢</li> <li>アメリカと結んだ条約とその内容</li> </ul>	<p><b>知①</b>ペリーと結んだ条約について文献資料を活用して調べている。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペリーの肖像画</li> <li>黒船の絵</li> </ul>
	<p>③ 強い日本にするために、誰がどのような考えで行動したのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国との戦争とその結果</li> <li>長州藩と薩摩藩の討幕運動</li> <li>大政奉還について</li> </ul>	<p><b>知①</b>戦争で負けた結果、長州藩と薩摩藩の武士がどのように行動したか、文献資料を活用して調べている。</p> <p>〈発言・ノート〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下関戦争の写真</li> <li>五箇条のご誓文の内容</li> </ul>

	<p>④ 明治政府がどのような改革を行い、どのような国づくりを目指したのか、資料を読み取り調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃藩置県が行われたこと</li> <li>・ 富国強兵のために、殖産興業、地租改正、徴兵令などの改革が行われたこと</li> </ul> <p><b>実践のポイント(2)</b></p>	<p><b>知①</b>明治政府が行った改革とその内容について理解している。</p> <p>&lt;発言・ノート&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃藩置県後の日本地図</li> <li>・ 富岡製糸場の絵</li> <li>・ 政府軍の絵</li> <li>・ 地租改正の測量の様子</li> </ul>
	<p>⑤ 政府に不満があった人々はどのような行動をしたのかを資料から読み取り、ノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西南戦争が行われたこと</li> <li>・ 言論で主張する世の中に変わったこと</li> </ul> <p><b>実践のポイント(1)</b> <b>実践のポイント(2)</b></p>	<p><b>知①</b>絵や図などの各種資料から、どのような行動をしたのか調べている。</p> <p>&lt;発言・ノート&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西南戦争の絵</li> <li>・ 自由民権運動の演説の絵</li> <li>・ 国会開設の署名に参加した都道府県別の人数</li> </ul>
	<p>⑥ 自由民権運動の結果、日本の政治の仕組みがどのように変わったのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大日本帝国憲法が公布されたこと</li> <li>・ 国会が開かれ、第一回衆議院選挙が行われたこと</li> </ul>	<p><b>知①</b>大日本帝国憲法が公布され、天皇主権の憲法であることを理解している。</p> <p>&lt;発言・ノート&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大日本帝国憲法の主な内容</li> </ul>
<p>まとめる</p>	<p>⑦ 調べたことノートにまとめることを通して自分なりの結論を考え、学級全体で話し合い、学習問題に対する結論を出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたことをノートにまとめること</li> <li>・ 自分なりの結論を考えること</li> <li>・ 学級の結論を導き出すこと</li> </ul> <p><b>学習問題の結論</b></p>	<p><b>知②</b>学習問題について話し合い、結論を導き出し、ノートに表現している。</p> <p>&lt;ノート&gt;</p>	
<p><b>下級武士たちが中心となって倒幕運動を起こし、江戸幕府を倒して明治政府がつけられた。その後廃藩置県や富国強兵など様々な改革を行い、外国に負けないような強い国づくりを目指していった。</b></p>			
	<p>⑧ 学習したことを基に絵や文章でワークシートにまとめる活動を通し、人物や出来事の関係を考え、表現する。</p>	<p><b>思①</b>学習したことを基に人々の行動や出来事に関連づけて考え、ワークシートにまとめている。</p> <p>&lt;ワークシート・作品&gt;</p>	

#### 4 実践結果と考察

##### (1) 児童の考えを引き出す資料提示

第1時 ねらい：江戸時代と明治時代の絵を比べて、学習問題をつくる。

はじめに教科書は見せず、一人一枚ずつ資料（江戸時代と明治時代の日本橋の様子）を用意して、気づいたことをノートに書き、ペアで意見交換を行った後に全体で交流をした。資料を比較させることによって、服装が変わったことや新しくガス灯が出てきたなど多くのことに気がつき、意見が多く出た。※1

T



江戸時代と明治時代の日本橋の様子を比べてみましょう。  
変わったことはどんなことがありますか？

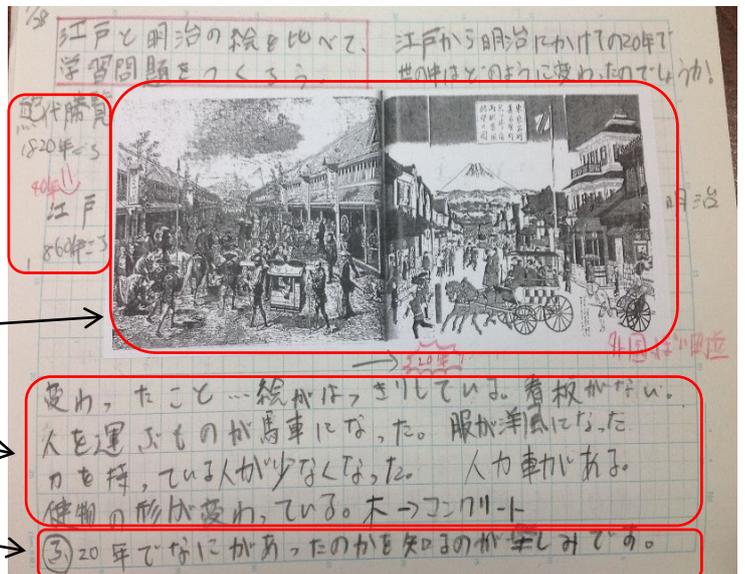
C



- ・建物の形が変わっている
- ・馬車がある
- ・人力車がある
- ・服装が洋服に
- ・刀を持っている人がなくなった
- ・街灯のようなものがある
- ・少し外国みたいなまちになった
- ・現代のような傘をさしている など

多くの意見により、江戸時代末期（1860年頃）から明治時代初期（1880年頃）の20年近くの間には様々な変化が起きたことを児童は理解をした。さらに、20年間でこれだけの変化が起きたことの凄さに気づかせるために、もう一つの資料「熙代勝覧」を黒板に提示した。「熙代勝覧」は、1805年頃の日本橋の様子が描かれた絵巻物である。これを比較材料とすることで、江戸時代から明治時代にかけての短い時間で多くの変化があったこと、また、何がきっかけでそのような変化が起きたのかなどの疑問をもたせ、切実感のある学習問題に近づけるように授業展開を行った。

##### ※1 【第一時 児童がノートにまとめた様子】



・比較させる資料（一人一枚ずつ配付）

・比較させたことによる多様な考え

・意欲の向上

第1時の学習では、江戸時代の絵と明治時代の絵を比較して学習問題につなげた。比較することによって、変わったことや新しくできたものなどに注目することができ、児童の意見が活発になったと考えられる。ふりかえりでは、この間に何が起きたのか関心をもっている児童が多くいた。

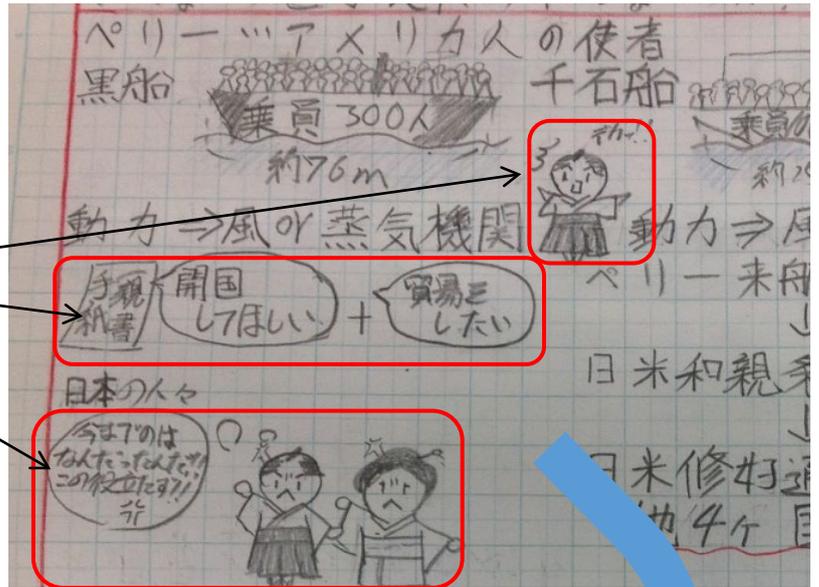
##### (2) 人物の考えや気持ちに着目した学習

本時の学習課題を解決するために、今まで学習してきたことや経験してきたことをもとに予想をたてることにより、「本当はどうなのだろう」「予想が当たっているのか調べたい」と見通しをもって追究することができる。

## 第2時

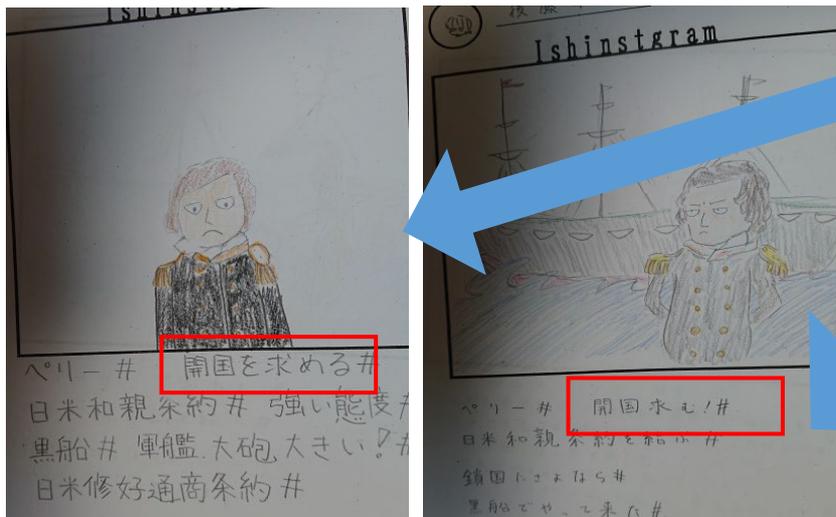
ペリーがどんな船で来たのかを紹介し、日本とアメリカの文明の差がいかにあったのかを確認し、予想をさせた。

- ・ 児童が予想をしている様子
- ・ 国民の気持ちを考えた記述



### 児童が歴史上の人物についてまとめたワークシート（維新スタグラム）

本単元に出てきた人物の中から一人選び、人物や出来事の関係を考え、表現させた。



<今までの学習との関連>

- ・ 予想をしてから、教科書で調べたことによって、自分の予想が当たっているのか見通しを持ちながら、学習に参加できていた。社会科が苦手と感じている児童でも、予想をたててノートに書くことができ、主体的に調べる活動ができた。

## 5 研究の成果と今後の課題

### 〈成果〉

- ・ 資料を比較させることにより、児童の気づきを多く引き出すことができた。
- ・ 単元を通して人々の考えや思いについて考えたことで、明治政府の改革がどのような経緯で起こったのか理解しやすくなっていた。

### 〈課題〉

- ・ 児童の興味関心をより高めるため、さらに認識を揺さぶるような資料の提示の工夫が必要である。
- ・ 人物の考えや気持ちを考えさせるためには、そのベースとして人物やその当時の社会の状況などの知識を与えることが必要だと感じた。